

サステナブルな環境実現に貢献する NOK 『アイカサ 2030 年使い捨て傘ゼロプロジェクト』に参画

NOK 株式会社(本社:港区芝大門1-12-15、代表取締役社長:鶴 正雄、以下「NOK」)は、傘シェアリングサービス「アイカサ」のアプリ開発およびサービスを展開する株式会社 Nature Innovation Group (所在地:東京都渋谷区、代表取締役:丸川 照司、以下「アイカサ」)の主催する、「2030 年使い捨て傘ゼロプロジェクト」に参画いたします。

NOK は、燃費改善や有害物質の漏えい防止に役立つ製品の製造を通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいりました。長期環境ビジョン「NOK Twin Green Plan」を策定し、2030 年までに工場の CO₂ 排出量削減、次世代エコ技術に貢献する製品の開発を推進しています。同じく 2030 年までに使い捨て傘をゼロにし、社会課題であるごみの削減を傘シェアリングサービスによって目指すアイカサの活動を応援することで、共によりよい未来への実現に向けて推進する所存です。

NOK では本プロジェクト参加にあたり、オリジナルデザインの傘をアイカサと共同で製作いたしました。NOK のコーポレートカラー、および主力製品であるオイルシールの丸い形状を取り入れ、誰もが使いやすいシンプルなデザインの傘となっています。また、晴雨兼用傘のため、雨だけでなく晴れて暑い日の日傘としても使用できます。今後、NOK グループ社員の利用を促進するため、本社、各支店へのアイカサ傘立て設置を進めてまいります。



<オリジナルデザインの傘>



<オリジナルデザインの傘(内側)>

アイカサは2018年12月にサービスを開始した、日本初の本格的な傘のシェアリングサービスです。突発的な雨にもビニール傘をその都度購入せずに、アイカサを借りて利用し、雨が止んだ際には最寄りの傘スポットに傘を返却することができるのが特徴です。NOKは2018年よりアイカサと協業し、傘レンタルシステムの実証実験から参画して、社会実装に向けてサポートしてきました。

本年6月1日より始まる「2030年使い捨て傘ゼロプロジェクト」は、傘のシェアリングを推進することで、日本で毎年消費される8,000万本以上のビニール傘の本数を減らし、2030年には使い捨て傘ゼロを目指すプロジェクトです。

◆アイカサ「2030 使い捨て傘ゼロプロジェクト」の詳細はこちらへ

URL:<https://i-kasa-lp.studio.site/2030pj>

本件リリースに関するお問い合わせ NOK 株式会社 広報部 (03) 5405-6372

NOK 株式会社 概要

事業内容:シール製品・工業用機能部品・油圧機器・プラント機器・原子力機器・
合成化学製品・エレクトロニクス製品・その他の製造・仕入・輸入・販売ならびに
機械器具設置工事等上記に付帯する業務

本社:〒105-8585 東京都港区芝大門 1-12-15

